

26

千代田区景観まちづくり重要物件

あんこう鍋 いせ源本館

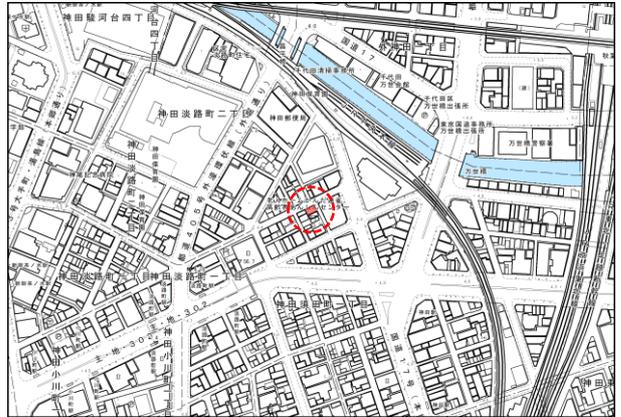
指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 神田須田町一丁目 11 番地

設計者 大国

竣工 1932（昭和 7）年

文化財等
指定状況 東京都選定歴史的建造物



▲いせ源

歴史・文化的特徴

明治初期に武家地を開発してつくられた地域に位置しています。近くにあった筋違橋門内の広場は八路ヶ原と呼ばれ、交通の結節点でした。その後、1912（明治45）年、ここに万世橋駅が建設され、もっとも賑わう場所となりました。また、地域の南側には、昭和3年まで青果市場があり、活気のある場所でもありました。周辺には老舗の飲食店が多く、いせ源もそのひとつとして、昔ながらの情緒を漂わせています。

東京都選定歴史的建造物にも選定されています。

意匠・構造の特徴

入母屋造りと、2階の欄干に施された菱形模様の彫りが特徴的です。木製の看板は建築当時から使用（1996（平成8）年補修済）しているものです。

外壁はモルタルで塗り込められていますが、創建当時より、防火のためにこのような材質を用いたと思われる。

周辺景観との関係

周辺にも老舗の飲食店が多く、老舗街のイメージに合った景観を形成しています。

2階は欄干のある開放的な窓から、店内の雰囲気や様子を見ることができ、1階にも塀はなく、道路から和風の建物の味わいをよく見ることができます。

角地にあり、建物全体がアイストップの役割を果たしています。